

アイ・リンクだより



令和元年 9月No.87

代表 石島 久司

代表コラム

アイ・リンクグループ社員の皆様及びご家族の皆様、日々の業務に対しましてご協力、誠に有難うございます。

各地で異常気象、台風などにより、さまざまな災害がおきています。当グループの社員さんの中にも被災された方がいます。心よりお見舞い申し上げます。早期の復旧を心よりご祈念いたします。今後も台風等の災害には十分注意を払ってください。

また、季節も変わり始め寒暖の差が激しい時季となってきました。十分に体調管理には気を付けて、安全第一で業務をお願いいたします。いつも本当にありがとうございます。

優秀安全事業所 銀賞受賞！ 全京運輸(株)

7月3日、京都府八幡警察署署長室において全京運輸(株)が、八幡警察署、自動車安全運転センター様より優秀安全事業所「銀賞」を受賞いたしました。昨年同様、2年連続での受賞おめでとうございます。今後も引き続き、安全運転意識を更に高め事故0に繋げていきたいと思います。



八幡警察副署長 八幡警察署長 上田社長 薮内所長 自動車安全運転センター所長



アイリンクだより 編集委員会・活動報告

8月10日に、第一回編集委員会が開催され、今後のアイ・リンクだより編集委員の方向性を話し合いました。その内容を掲載いたします。

●変化と期待の共有

- 各拠点での活動の成果・・・拠点間で高低はあるものの「4（7段階中）」、変化は見えつつあるが目指す姿に対して道半ば
- 社内の変化・・・管理者の意識が高まり、コミュニケーションが深まり、チームワークが強化されつつある
- 社外の変化・・・お客様からサービス、付加価値が認知され、結果として各拠点売上げがアップに繋がっている
- 自立型組織・・・・・・・・自分たちで判断して行動しつつある
- 明るく元気な拠点・・・前年度に比べてできていると思う

●ミッションステートメント

我々は、グループ会社で働く社員さん、家族の皆さんに向けて、社内報やSNSで特集を行い、一体感が生まれ、それぞれが人に誇れるような魅力ある職場、社員さんを伝える事を使命とする。

●行動のガイドライン

1. 必ず編集委員会で発言をする
2. 忙しい部署があってもチーム力でフォローを行う
3. スケジュールを立てて、厳守する
4. 個人情報取扱には、気をつける
5. ここでの決まった事を拠点に持ち帰り、知らせる

●活動のポイント

魅力ある職場作り

- ・拠点探訪
(第三者が見た拠点の姿)
- ・拠点紹介
- ・安全対策への紹介
(家族向け)

魅力ある社員さん

- ・インタビュー
(Grテーマについて)
- ・趣味の紹介
- ・業務ごとの社員さん紹介、自慢

明るく元気に

- ・明るく元気な写真
(暑気払い等)
- ・点呼の様子

今回、新編集委員での活動がスタート！特別企画として3名の編集委員が代表との対談に臨みました。さてさて、どんなお話だったのでしょうか？(^-^)

【司会】スローガンに「明るく元気に」を掲げておりますが、代表はどうお考えですか。
 【代表】各号で毎回テーマ決め、今年度はそれを全面的に押し出していくと良いと思います。また、スローガンが各号すべてに入っているなど。



【齋藤主任】マルトウは懇親会等が、一番明るく元気な拠点だと思えます。しかし、第一事業部と第二事業部は仕事内容が異なり、壁があるわけではありませんが、同じ会社においても、関わり合う場がありません。自身が中心となり交流できる場を提供し、更に一体感を高めたいと思えます。

また、交流できる場や、お互いの仕事内容などを理解できるものを、発信していきたいと思えます。

【司会】各拠点での取組みを皆さん自身が社内報に載せ、グループに波及させていくという考え方ですね。最終的にはグループが、どのような姿を想像しますか。



【齋藤主任】拠点間での壁を越えていきたい。今迄、同じグループ会社で働いていても横の繋がりをあまり感じられなかった。普段、仕事で関わることのない社員さんと、同じ課題について意見交換をする事で、横の

繋がりができ、このような一体感がグループで出ると思えます。



【代表】この事を通して、若手の横の繋がりができる事は、とてもいいと思えます。今日は編集委員会として3名来ていますが、オブザーバーとして

若手社員のなかで、参加させたい人がいれば、オブザーバー（見学者）として活発的に何人でも参加させて欲しい。そこで更に横の繋がりが広がり、強いチームワーク力ができると思えます。

同じ目標に対する考え方を意見交換し合える場、他の人の意見を聞くことはとても大切なことです。九州などの遠方地区も含めてオブザーバーを多数入れて、横の繋がりを強化していきたいでしょう。

それが社風づくりの大きな点です。4年前は幹部の方々もお互いを呼びつけで、呼び合っていました。

例えば深井さんの娘さんが一緒にいた時に「深井」と呼んだら娘さんはどう思えますかというところから、「さん」付けをするよう徹底した。それを聞いてる家族はどう思えるかを、考えた時に呼び捨ては無くそうと思いました。ドライバーさん、現場社員さんが汗水流しているから売上げ、利益が出ています。個人をしつかり尊重し、おかげさまでという観点に繋がり、「さん」「君」付けの社風を目指しています。

【司会】先を見据えた時に編集委員会への期待はどのようなことですか。



【小川課長】皆さまが、「アイリンクだより」を待ち遠しく思ってもらえるようにしていきたい。2カ月に一回ではなく各月で発行され、ボリュームも

今よりも増やし、各拠点が均等に掲載できるようにしたい。増刊号なども月によって行い、多くの特集を発信していければと思います。

【代表】今日対談し、非常に心強い意見が聞けました。頑張ってください「アイリンクだより」が皆様から、好んで見て読んで頂けるよう、お願いします。

【全員】はい！（おわり）

代表対談・出席者



石島代表



白鳥さん



齋藤主任



小川課長

代表対談（新編集委員特別企画）

【司会】今回、新編集委員会では、委員会の使命について委員皆さんで考えました。まず初めに小川さんから、編集委員会のミッションステートメント（期待する姿）の報告をお願いします。



【小川課長】編集委員会のミッションステートメントは「我々はグループ会社で働く社員さん、ご家族の皆さんに向けて、社内報やSNSで特集を行う事で一体感が生まれ、それぞれが人に誇れるような魅力ある職場、社員さんを伝える事を使命とする」を掲げました。

グループ横断プロジェクトの一環として会社が大切にしている社員さん、その社員さんを大切にしている、ご家族の皆さんに向けて、グループの魅力や活動内容を伝えていこうと考えています。

【司会】今回、対象をグループ会社で働く社員さん、そのご家族の皆さんを対象にしましたが、齋藤さんは、どのようにお考えですか。



【齋藤主任】社内報を通してご家族の方がアイリンクグループは、「こんな事をしてるんだ」、「こんな人が拠点にいるんだ」などを理解してもらい安心して働ける会社である事を、分かってく頂き、ESの向上、ご家族の安心のために編集委員会は社内報を作っていくたいと思います。

【司会】最近の会社での変化ではどんな事がありますか？



【白鳥さん】平和では予定表を用い、メカニックさんもお客様からの車検等での要望を、一目でわかるように改善活動を行っております。多くの事にチャレンジし、小さな成功の積み重ねは、とても大切であると思います。やって見て、良ければ取入れ、駄目であれば、やめれば良いと思います。



小さな成功体験を特集し、各拠点が刺激を受け、グループ全体が更に生き生きして働ける職場環境作りのきっかけになればと思います。

【代表】なるほど！改善活動にスポットを当てて成功体験を出すことにより社員さんのやる気を上げていきたいと思います。

う、という意味合いですね。今後、改善活動大会の開催などに繋がって行っていけば面白いと思います。そのような改善活動大会（QC大会など）を、経営理念大賞で表彰し、また、その際に、最優秀賞にはプレゼン形式の発表を行ったら良いのではないのでしょうか。

【司会】編集委員会からグループの新しい制度が発信出来たら面白いですね。

【司会】経営理念との繋がりの観点で考えるとどういった意味合いと繋がっていると思いますか。

【小川課長】自分達で達成した事はやりがいになると思います。最初はやらされ感があっても自発的なアクションが起こせる人の姿を皆に伝え、皆がお客様に対するサービ



スを深める事が、真心はこびに繋がると思われます。家族に向けては、会社での仕事内容であれば、ご家族、友達に伝えたくならないと思います。ミッションに「誇れるように」と記されていますが、ご家族に仕事や、グループへの理解が深まれば、本人のやる気、仕事への熱意も高まると思います。

【司会】つまり、リーディングカンパニー（地域で一番の企業）という事でしようか？

【小川課長】熱意や仕事の楽しさが広がれば、リーディングカンパニー実現に繋がると思っています。

【代表】ご家族の皆さんを対象にという事ですが、齋藤さんは親に「アイリンクだより」を見せたことがありますか？

【全員】ありません。（泣）

【代表】例えば記事になつて、特集された社員さんのご両親へ郵送すれば、ご両親は喜ぶと思います。新卒者には、実家に郵送するなど、社員さんのご家族への配慮も期待したいですね。

また、「アイリンクだより」についてのアンケートを取り、「よく見えますか」、「どんな記事が良いですか」など、選択形式で皆に聞いて、紙面を充実させて欲しいです。

社内報は各拠点の誰かを掲載していくようにしないと、拠点に温度差が出てしまうので宜しくお願いします。